



つやまかわら版



津山市教育委員会だより 平成27年12月 第20号

教育委員長

就任「あこし」



真木 源
教育委員長

平素より皆様には津山市の教育の推進に対しましてご協力いただき深く感謝申し上げます。

10月1日付けで教育委員長に選任され、また、長江真理子委員が教育委員長職務代理者へ指定され、その使命と責任の重さを強く感じているところです。

皆様方のご支援とご指導をいただきながら津山の子どものため、教育推進のため、誠心誠意務めさせていただきたいと思っております。

現在、津山市では、教育施策を推進するため、平成24年度から5年間の期間として策定した「津山市教育振興基本計画」を基に、「つなぐ力」を育む「あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて」を教育基本理念として掲げ4年目を迎えています。

就学前教育、義務教育、

家庭教育、社会教育のそれぞれの分野で施策の方向性や主な取組を明らかにし、さらに重点取組を掲げて取組を進めてきました。

その中で、津山市の学力は、今年度実施された「全国学力・学習状況調査」の結果では、課題はあるものの、やや上向き傾向にあります。

これは、学校での日々の授業が、子どもの学びにとって充実したものとなるよう、子どもの目線に立った授業改善を実施し、各校の改善プランに基づいた取組みの成果の表れだと感じています。

教育の役割は、「確かな学力」を身につけ、「豊かな心」、「健やかな体」を育成し、生涯を通じて学び、成長し「生きる力」を養うことにあります。

そして、学校・家庭・地域がつながり、全ての市民の資質や能力の向上が図られるように、学習機会を充実させ、まち全体で人を育む「つなぐ力」を培うことも重要です。

引き続き「つなぐ力」を

備えた人づくり、まちづくりに努めてまいりますので、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育委員の活動報告 尾道市へ行政視察

平成27年11月6日(金)、「確かな学力の向上」を指して日々取り組み、大きな成果を上げている先進地に学ぼうと、行政視察で尾道市立土堂小学校を訪問しました。

最初に、体育館での6年生による合唱と伝統ある土堂っ子太鼓の演奏で迎えていただきました。

豊かな声量と美しい歌声に魅了され、迫力ある太鼓の演奏に感動しました。



迫力ある土堂っ子太鼓の演奏

次に、長年にわたり取り組まれてこられたモジュール授業の参観です。

これは45分間の1時限を3分割し、音読15分、算数計算15分、100マス計算、そろばん等、その他15分で、徹底した反復授業を行い、基礎学力の定着、学ぶための習慣づくりを目指すものです。

集中するための雰囲気づくりにより、子どもたちは集中力を維持しながら、はつらつとして、積極的に学んでいました。

どの子にも基礎学力が定着していることの成果を拝見し、反復学習を行うことの重要さを実感しました。

最後に、尾道市教育委員会を訪問し、「尾道教育みらいプラン」について、主に学力向上のお話を伺いました。

児童生徒、そして教職員が「競い合い」、「認め合い」、「高め合う」、切磋琢磨する中で、学力向上、作品レベルの向上が見えはじめてきたというお話に、なるほどと共感しました。

この度の視察で得たことを、教育委員会で共有し、

津山市の教育の推進につな
げていきたいと思えます。

**津山市内小中学校
児童生徒交流会を開催**

津山市では、津山市いじめ
問題対策基本方針に基づき、
各校における児童生徒の主
体的な活動を重点取組とし
て推進しています。

今年度は8月29日(土)に
市内の小・中学校から72人
の児童生徒が津山中央公民
館に集まり、津山市内小中学
校児童生徒交流会を開催し
ました。



中学校での取組を紹介する生徒たち

第1部では、中学校の代表
3校が6月のいじめ防止啓
発月間の取組を中心に発表

を行いました。

加茂中学校は、生徒会が中
心となって組織した「いじめ
なくし隊」の啓発劇と、県の
いじめ防止宣言を全校に紹
介した取組を発表しました。

鶴山中学校は、「スクール
ライフアンケート」の結果や
生徒会を中心に取組んで
いる体育館開放の様子を紹
介しました。

生徒同士が達成感を味わ
う体験を重ねることで仲間
意識や絆が育ってきたとい
った発表を行いました。

久米中学校は、スマホ使用
に関する啓発劇や保護者向
けに啓発チラシを作成配布
した取組、生徒が作詞作曲し
た生徒会歌「思いやりの歌」
の紹介を行いました。

3校の発表の後、中学生が
リーダーになり、小中学校で
グループ交流を行いました。
発表の感想や自分たちの
学校でやってみたい取組・参
考になった取組を話し合い
ました。

グループ内で緊張してい
る小学生を中学生が上手に
リードし、各学校の取組と比
較しながら話し合いを進めま
した。

その後、全体交流を行い、

各グループから出た意見や
感想を中学生が発表し、全体
で共有しました。

第2部は、環太平洋大学特
任教授の平松茂先生を講師
にお迎えして、情報モラル研
修を行いました。

スマートフォンやインタ
ーネットを利用する際に気
をつける点について、クイズ
形式の動画を見ながら考え
るといった小学生にも理解
しやすい話をされました。

小・中学生が発言する機会
がその都度設けられ、予想さ
れるトラブルに対し自分の
こととしてしっかりと考え
ることが出来る児童生徒参
加型の研修となりました。



児童生徒参加型の平松先生の研修会

参加者の感想

【児童生徒】

「他校の人と話ができたこ
とや、平松先生のわかりやす
い説明がよかった。」「他の
学校の取組を知ることがで
き参考になった。」「グルー
プの中でも意見を言うこと
ができて自信がついた。」

【保護者・教職員】

「子どもたちが考え、表現す
る場面が設けられており有
意義だった。」「スマホを所
持する年齢層も下がってき
ているので小中学生が集ま
った場でこのような講演を
することは意味があること
だと思った。」「恐さとも
に向き合い方を教えてやる
のが親のつとめだと思っ
た。」「このようなフォーマ
ルな会に学校の代表として
子どもたちを出席させてい
くことは様々な能力の育成
に有効な取組だと思った。」

津山市教育委員会では、い
じめの未然防止に向けて、今
後もこのような交流会を企
画し、児童生徒の主体的な取
組を推進していきたいと考
えております。

**給食への地場産食材の
利用拡大に向けた取組**

津山市の学校給食の食材
は、主に日本国内のものを使
用しています。今後、その中
に占める津山産や岡山県産
の割合をさらに高めていこ
うといういろいろな取り組みを
進めています。

週3日提供している米飯
に使用するコメは、全量を津
山産としています。野菜につ
いては、地元生産者とJAと
の契約栽培によるものを優
先して調達しており、その品
目数を徐々に増やしていま
す。



活発な意見交換ができた児童生徒の交流会

今年度は、新たな取り組みとして、関係部署と連携し、津山産小麦で作った麺などを試験的に導入することにしています。

10月は、津山じゃあじゃあ麺、11月は、カレースパゲティを提供しました。津山産の麺は児童生徒にも好評のようです。

これからも、安全・安心でおいしい地場産の食材をより多く採りいれた給食の提供を進めてまいりたいと考えております。



津山市食育推進キャラクター
しょくたん

鶴山塾「子育てフォーラム」を開催

現代の青少年の心を理解し、かわり方を学ぶ、鶴山塾「子育てフォーラム」を、11月15日(日)に津山東公

民館で開催しました。

現在、パソコンやスマートフォンが広く普及し、子どもたちも利用している状況において、問題や不安を抱えている保護者も多くおられます。

そこで、情報モラル教育の専門家である環太平洋大学特任教授の平松茂先生をお招きし、「大人の知らないネットの世界」と題して、ネット社会に潜む危険性、ネット依存・ゲーム依存の現状と対応、未然防止などについて、ご講演いただきました。



子ども達のために熱心に学ぶ参加者の方々

「ネットは便利で情報を得られる反面、使い方を間違えるとトラブルにつながる」と、「家庭の中の子どもの信頼関係を築くことが、ネットの危険から子どもを守る

ることにつながる」と、「まず大人がデジタル機器の利用について理解し、子どもにもリスクを教え、利用制限を作り守らせることが大切」といったこと等を学びました。約50名の参加者が集い、子どもたちのためにネット社会の対処法について、共に考えることができました。

「見つけよう！津山の魅力」調べる学習コンクール表彰式を開催

津山市教育委員会は、津山への愛着心を育て、課題解決能力や「生きていく力」を養うために、小・中学生が津山に関する疑問や興味を調べてまとめた作品を募集するコンクールを開催しました。

初めての開催でしたが、市内の施設等を利用して勉強会を6回行い、応募作品は、努力の跡の見えるすばらしいものばかりでした。

審査委員会で選ばれた優秀作品の表彰式を11月14日(土)に行いました。

受賞者の4人は、緊張しながらも調べるのに苦労した

点などをしっかりと話してくれました。



調べる学習コンクール表彰式

受賞作品は、市立図書館等で展示するとともに、冊子にして市内全小・中学校へ配布します。

また、最優秀賞と市長賞を全国コンクールへ推薦します。

ヒブリオバトルを開催

11月21日(土)に3回目となるヒブリオバトルを開催しました。

一般の部・学生の部、それぞれの発表者は、おすすめの本の魅力を熱く語り、観客も参加して、活発な感想等を述

べていました。

最後に、「発表の上手さ」ではなく、「一番読みたくなった」という基準で選ぶ「チャンプ本」が参加者全員の投票で決定しました。

一般の部のチャンプ本は、『いじめ』をめぐる物語』(荻原浩他・著 朝日新聞出版)、学生の部は『しゃばけ』(畠中恵・著 新潮社)でした。行事終了後、前回のヒブリオバトル観覧を機に自分の学校でも開催をしたといった声が観客参加者の先生からありました。

ヒブリオバトルが市内の学校にも少しずつ浸透し始めていることを感じています。



おすすめの本の魅力を熱く語る発表者

可児市・津山市歴史友好都市縁組締結20周年記念交流事業の実施

平成27年11月21日(土)、可児市から歴史友好都市縁組締結20周年記念訪問団をお迎えして、盛大な記念交流会を開催しました。

本年は、津山森藩初代藩主の森忠政が、美濃国金山(現在の岐阜県可児市兼山)の出身であることから続けられてきた可児市・津山市歴史友好都市交流事業20年の節目にあたり、相互に様々な記念事業を実施している中で開催されたものです。

今回の可児市訪問団に先だって、4月には可児市から鳥峯太鼓の皆さんが津山を訪れて演奏、5月には津山からの訪問団が可児市を訪れ、兼山での史跡見学や交流会、花フェスタ会場での記念品交換など、心温まる歓迎を行いました。

また、秋には、可児郷土歴史館で可児市と津山市の文化財を展示する特別展が開催されました。

森家ゆかりの本源寺・妙願寺などに参詣、夕刻の交流会に参加して親交を深め、翌日には津山城を見学した後、赤穂経由での帰路につかれました。



津山市長・教育長から可児市訪問団代表へ記念誌を贈呈

**いよいよオープン
アイスランド津山**

県北唯一の屋外スケートリンク場『アイスランド津山』がオープンします。

開場期間は、平成27年12月12日(土)から平成28年2月21日(日)までです。

開場時間は、午前9時から午後8時まで。但し、月・日曜日、祝祭日は午後5時、水曜日は午後7時30分まで。

(12月31日(木)と1月1日(金)は休場日及び天候等により臨時に閉場する場合があります)

滑走料金は、一般600円、中学・高校生350円、小学生以下200円、貸靴代300円です。(但し、12月12日(土)、2月21日(日)、毎週金曜日は滑走料無料)

また、初心者向けの『スタート教室』を希望により開催(土曜日は除く)しますので、ご利用ください。



県北唯一の屋外スケートリンク

開場期間中、津山市体育協会ボランティアによる売店(うどん、焼きそば等)(土・日曜日、小中学校冬休み期間中のみ営業)も準備しておりますので、ご家族そろって冬のスポーツ『アイススケート』を存分にお楽しみください。

**平成26・27年度
津山市幼稚園教育研究
大会を開催**

平成27年10月31日(土)、津山市立二宮幼稚園において、津山市幼稚園教育研究会が開催されました。

公立・私立の保育園(所)の保育士、幼稚園・小学校の教諭ら関係者110人が参加し、「自分が好き・友達も好き・みんな大好き」自己肯定感を育むための教師の役割を研究テーマとして、二宮幼稚園と長年にわたり交流の深い二宮保育園の年長児との合同保育が公開されました。

全体会は二宮公民館で行われ、研究協議では、日々の生活の中で子ども心に「自分は大切にされている」という実感が蓄積されるようなかわりの積み重ねが大切であることなど、自己肯定感を育むための教師の役割について、各グループで熱心な議論が交わされました。



楽しく遊ぶ園児たち(公開保育)

発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育部教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112(直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp



教育委員会関係課: 教育総務課 学校施設課 学校教育課
保健給食課 生涯学習課 図書館 文化課
津山市史編さん室 スポーツ課 こども課